※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによるさまざまな表現効果を学びましょう。
・楷書、行書などの古典の臨書を中心に、文字を書くための基本的な筆法や、美しい字形とは何かを学びます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書の美に親しみを持つ心情を育てます。

2　学習の到達目標

⑴ 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
⑵ 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
⑶ 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書体の変遷	・書写から書道へ ・漢字の書体の変遷と仮名の成立	a:①国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義を理解している。 ②漢字の書体の変遷と仮名の成立について理解している。 b:中学書写での漢字と仮名の調和の学習を振り返り、表現を工夫している。 c:高等学校での書道の学習の意義に関心を持ち、漢字の書体の変遷と仮名の成立の学習にも意欲的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	提出作品	観察 ワークシート
	楷書の古典に学ぶ	・楷書の古典(唐の四大家)の鑑賞と臨書	a:【知】さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。 【技】古典に基づく基本的な用筆・運筆や、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。 b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成など、書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫している。 c:さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	古典観察シート	提出作品 相互批評シート	観察 提出作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	行書の古典に学ぶ	・書聖王羲之の書と人について ・蘭亭序の鑑賞と臨書	a:【知】さまざまな行書の古典に美とその技法について理解している。 【技】行書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 b:行書の変化と統一などを理解し、行書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。 c: 王羲之の書と人について理解を深め、筆者の感興や意図と、字形や線質との関わりに関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	古典観察シート	提出作品 相互批評シート	観察 提出作品 振り返りシート
	漢字の書の作品制作	・うちわに漢字一文字制作	a:創造的な書表現の多様性を理解し、用具・用材、線質、字形などの表現の技能を身に付け表している。 b:自己の表現のねらいを達成するために、古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。 c:漢字の書の作品制作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 ワークシート	作品	観察 ワークシート
後期	篆刻の学習	・名前の各書体調べ ・姓名印の制作	a:【知】落款の意味と役割について理解し、篆刻の意義と技法について理解している。 【技】篆刻の技法を理解し、姓名印を刻す技能を身に付け表している。 b:篆刻の技法を学び、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c:篆刻に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 ワークシート	作品	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書の学習	・カレンダーの制作 ・古典を参考に草稿作成 ・紙面構成を工夫し創造的な書表現を目指す ・各自マーブリングした半紙に清書、落款印 ・相互批評会	a: 【知】漢字と仮名の調和した表現について理解し、古典や名筆のよさや美しさを生かして表現することを理解している。 【技】漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け、古典や名筆のよさや美しさを生かして表現する技能を身に付け表している。 b:漢字と仮名の調和した美しさを理解し、古典や名筆の美しさを感じ取り、自己の表現のねらいを達成するために意図に基づいて構想し表現を工夫している。 c:漢字仮名交じりの書の表現に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	観察 ワークシート	作品	観察 相互批評 ワークシート
	生活の中の書	・実用的なボールペンを用いて美しく整った文字を書けるようにする ・はがきの書式を学び、暮らしの中に書を生かせるようにする。	a:書道の学習で身に付けたことを生かし、暮らしの中に書を生かすことができる。 b:書道の学習で身に付けたことを生かして、暮らしの中に書を生かす工夫している。 c: 暮らしの中に書を生かそうと、意欲的に取り組んでいる。	観察	課題の添削	観察 課題提出
	仮名の書の学習	・仮名の基本用筆 ・平仮名の単体から連綿へ ・蓬萊切の鑑賞と臨書	a: 【知】仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解している。 【技】運筆の律動性や筆脈を学び、仮名の美しさを理解し、その技法を身に付け表している。 b:日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。 c:仮名の書の美とその技法に関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	観察 ペーパーテスト	課題の添削 作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度